

JKJO全国S級検定試験・関東地区審判講習会のお知らせ

関東地区審判講習会を下記日程にて開催いたします。

【趣旨】 フルコンタクト空手のジュニア大会全盛の今日、ルール統一、審判技術の向上を図り、どの大会に出場してもクリーンで公平で厳格なる大会となるように、流派・団体を超えての交流を目的に現在全国250を超える団体が参加しております。

【日時】 平成24年1月15日(日)
集合 AM 9:00

【会場】 横浜国際プール 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1
講習会 : サブアリーナ
筆記試験 : 会議室
救命講習 : 会議室

【主催】 全日本空手審判機構

【参加費】 1団体 : 無料 *但し選抜戦・交流会へ選手出場がない場合、2,000円/団体
審判員 : 無料

【ライセンス登録料】 1,000円 *ライセンス受験者・更新者のみ

【持ち物】 **ホイッスル、リストバンド(主審)、ライセンス証(ライセンス取得者)**
筆記用具(筆記試験を受ける方)
*お弁当は出ませんので、各自でご用意ください。

【服装】 男性 : 白のYシャツ・紺または黒のスラックス・ネクタイ
女性 : 白のブラウス・紺または黒のスラックス
*過度な化粧・髪の色・装飾品は禁止

【ライセンス取得条件】 高校生以上で空手修行4級以上の者。
C級以上の受験者は原則空手修行5年以上かつ黒帯以上
(所属道場責任者推薦のある場合2級以上の者も受験可能。)
C級以上の受験者は救急救命セミナー講習経験が必要です。
(所属道場等で救命講習を行った場合、修了書のコピーを提出してください)
D級以上はJKJO公認大会で年に2回以上審判実務経験が必要です。

E級	講習会参加3回目で取得(無試験)
D級	E級取得後、講習会参加2回目で取得(無試験)
C級	D級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
B級	C級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
A級	B級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
S級	S級検定試験(年2回開催)でのみ受験可能

*前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いて再受験してください。
*初参加団体は、事前にJKJO参加申請書を提出してください。
個人初参加の方も、同様に個人登録JKJO参加申請書を提出してください。

※講習会終了後救命救急講習会を行います
C級ライセンス以上の方はなるべく参加してください。

【注意事項】 ※受験申込書について
ライセンス受験及び更新の方は、申込時に**受験申込書**を提出してください。
ライセンス証発行の際に使用しますので、写真を必ず添付してください。
未提出の場合は当日参加しても講習者扱いとなりますのでご注意ください。

※ライセンス有効期限について
ライセンスの有効期限は**2年間**です。失効する前に必ず更新受験を行ってください。

【その他】 ご自分が現在何級なのか、今回受験が可能か等不明な方は、事前に事務局へお問い合わせください。
参加人数により集合時間等が変わることもあります。その際は事前に団体責任者へご連絡いたします。

【お知らせ】 講習会終了後に横浜国際プール会議室にて執行部会を行います。

【締め切り】 **2011年12月15日(木) 必着**

①審判講習会 参加申込書 ②公認審判員受験申込書 ③審判員受験・更新料(1名につき1,000円)
*各団体ごとに現金書留にて下記の住所まで郵送してください

【申込先】 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-33-6 GOビル2F
JKJO全日本空手審判機構 本部事務局
☎ 045-914-7088 FAX 045-914-7089

JKJO全日本空手審判機構 審判講習会 参加申込書 (FAX可)

●開催内容(講習会開催者入力欄)

地区名 (○をして下さい)	北海道・東北・甲信越・ 関東 ・中部・関西・中国・四国・九州				
講習会開催者名	全日本空手審判機構				
問い合わせ先	TEL	045-914-7088	FAX	045-914-7089	
講習会日	西暦	2012年1月15日	場所	横浜国際プール	
参加申込期限	西暦	2011年12月15日			

●参加申込明細(参加者(道場)入力・記載欄)

道場名			代表者名		
連絡先	TEL		FAX		

●参加者名簿(参加道場入力・記載)

- * 今回受験の欄に記載した方は、別途「受験申込書」と、ライセンス登録料1,000円を期限までに提出して下さい。受験申込書が事前に提出されていないと、当日受験できませんのでご注意ください。
- * まだライセンスを取得していない方は、現級欄に「講習1回」または「講習2回」と記載して下さい。講習3回目でE級受験となります。また初参加の方は、講習欄に「初参加」と記入して下さい。
- * ライセンス獲得者は、取得後1回講習会を受けなければ次級受験ができません。次級受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 検定結果不合格の場合は現級更新扱いとなります。再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 再受験の方はライセンス取得日欄に「●年●月●日●級不合格」と記入して下さい。例を参照。
- * ライセンス有効期間は2年です。昇級を希望しない方も失効前に更新受験要。

No	フリガナ 氏名	年齢	空手 段級	現級 (ライセンス)	ライセンス 取得日	ライセンス取得後 の講習日	今回 講習の方	今回受験 の方	ライセンス 登録料
	(例) 初参加の方	30	4級	—	—	—	初参加		
	(例) 講習2回目の方	18	2級	講習1回	—	—	講習2回目		
	(例) 講習3回目(E級受験)の方	25	初段	講習2回	—	—		E	1,000円
	(例) D級受験の方	20	4級	E	2009/1/31	2009/7/31		D	1,000円
	(例) D級取得後講習受講の方	40	三段	D	2009/1/31	—	○		
	(例) B級再受験の方	25	初段	C	2009/1/31 B級不合格	2009/7/31		B	1,000円
	(例) A級更新受験の方	50	参段	A	2008/3/1	2009/1/31		A(更新)	1,000円
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

合計

円

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部
登録料 1,000円

受験日	西暦 2012 年 1 月 15 日 (日)	会場名	横浜国際プール(サブアリーナ)
開催地区	北海道・東北・甲信越・北陸・ 関東 ・中部・関西・中国・四国・九州		

*前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	S A B C D E 級 (○を付す)	受験区分	新規・再受験・更新 (○を付す)
登録No	— <small>審判認定証参照 初受験の場合未記入</small>	所属道場	
ふりがな		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		性別	男・女
		年齢	歳

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
正装・脱帽
裏面に名前

住所	(都道府県から) 〒 —		
電話番号	— —	メール	
職業		空手段位	級・段
現ライセンス	S A B C D E 級 (○を付す)	空手修行歴	年 月 日
現ライセンス取得年月日	西暦 年 月 日	今年受験日が現級取得日から4か月以上経過していること	
現ライセンス認定検定員名	(審判認定証参照)		
現ライセンス取得後の講習会参加日	* E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入		
	西暦 年 月 日	西暦 年 月 日	西暦 年 月 日
指定大会・公認大会審判経験			
西暦 年 月 日	大会名		主審・副審
西暦 年 月 日	大会名		主審・副審
西暦 年 月 日	大会名		主審・副審
C級以上受験者：救急セミナー参加経験			
西暦 年 月 日	場所		
S級受験者：検定員補助経験			
西暦 年 月 日	場所		
西暦 年 月 日	場所		
備考	*道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください *S級検定の場合、所属地区推薦者名(検定員)をここに記入		

(以下、検定員記入欄) JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定

※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1	2	補助検定員名(A級)	
服装(審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン)	合・否	主審・副審間の連携		合・否	
過度な化粧・頭髪の色・装飾品	合・否	判定時の動作(笛・旗)		合・否	
入退場時の動作	合・否	判定の正確性(2回以上のミスジャッジ)		合・否	
反則に対する反応	合・否	アクシデントに対する対応		合・否	
有効技に対する反応	合・否	検定員として審判員への指導能力(S級受験者のみ)		合・否	
姿勢(副審席・主審の場合立ち位置)	合・否	実技試験評価 ※ <input checked="" type="checkbox"/> が7つ以上で合格		合格・不合格	
筆記試験	立会検定員名		点数	点	総合評価 合格・不合格
特記事項					

右公認審判員受験者は

- 公認審判員規程の要約
- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
 - 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
 - ライセンスの有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
 - 各ライセンス受験資格と試験内容
 - S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。
 - A級・B級：筆記試験と実技試験
 - C級：空手修行黒帯以上。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。
 - D級・E級：高校生以上かつ4級以上のものが受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。無試験。
 - ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
 - ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
 - D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
 - B級以上の審判員は救急士による救急救命セミナーを2年に1度受講すること。

(記入例) JKJO全日本空手審判機構 公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部
登録料 1,000円

受験日	西暦 2011 年 1 月 30 日 (日)	会場名	BUMB 東京スポーツ文化館
開催地区	北海道・東北・甲信越・北陸・ 関東 ・中部・関西・中国・四国・九州		



*前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	S A B C D E 級 (○を付す)	受験区分	新規 ・再受験・更新 (○を付す)									
登録No	K T - 0001 <small>審判認定証参照 初受験の場合未記入</small>	所属道場	空手道MAC									
ふりがな	わたなべ たろう *必ずご記入ください	生年月日	西暦 1968 年 10 月 25 日									
氏名	渡辺 太郎	性別	男 ・女 年齢 41 歳									
住所	(都道府県から) 〒 224 - 0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目33-8 GOビル201											
電話番号	045 - 914 - 7088	メール	abcde12345@docomo.ne.jp									
職業	空手道場経営	空手段位	弐 級 段 空手修行歴 12 年 ヶ月									
現ライセンス	S A B C D E 級 (○を付す)	現ライセンス取得年月日	西暦 2010 年 1 月 31 日 <small>今回受験日が現級取得日から4か月以上経過していること</small>									
現ライセンス認定検定員名	(審判認定証参照) 鈴木 二郎 (旧ライセンスカードには記載されていないので、その場合未記入で結構です)											
現ライセンス取得後の講習会参加日	* E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入 西暦 2010 年 4 月 1 日 西暦 2010 年 10 月 1 日 西暦 2010 年 1 月 31 日											
指定大会・公認大会審判経験	<table border="1"> <tr> <td>西暦 2010 年 3 月 1 日</td> <td>大会名 第●回 ジャパンカップJr大会</td> <td>主審・副審</td> </tr> <tr> <td>西暦 2010 年 5 月 1 日</td> <td>大会名 第●回 武神オールジャパン</td> <td>主審・副審</td> </tr> <tr> <td>西暦 2010 年 7 月 1 日</td> <td>大会名 関東地区予選会</td> <td>主審・副審</td> </tr> </table>			西暦 2010 年 3 月 1 日	大会名 第●回 ジャパンカップJr大会	主審・副審	西暦 2010 年 5 月 1 日	大会名 第●回 武神オールジャパン	主審・ 副審	西暦 2010 年 7 月 1 日	大会名 関東地区予選会	主審 ・副審
西暦 2010 年 3 月 1 日	大会名 第●回 ジャパンカップJr大会	主審・副審										
西暦 2010 年 5 月 1 日	大会名 第●回 武神オールジャパン	主審・ 副審										
西暦 2010 年 7 月 1 日	大会名 関東地区予選会	主審 ・副審										
C級以上受験者：救急セミナー参加経験	西暦 年 月 日 場所											
S級受験者：検定員補助経験	西暦 年 月 日 場所											
備考	*道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください *S級検定の場合、所属地区推薦者名(検定員)をここに記入											

(以下、検定員記入欄) **JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定** ※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1	2	補助検定員名(A級)	
服装(審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン)	合・否	主審・副審間の連携		合・否	
過度な化粧・頭髪の色・装飾品	合・否	判定時の動作(笛・旗)		合・否	
入退場時の動作	合・否	判定の正確性(2回以上のミスジャッジ)		合・否	
反則に対する反応	合・否	アクシデントに対する対応		合・否	
有効技に対する反応	合・否	検定員として審判員への指導能力(S級受験者のみ)		合・否	
姿勢(副審席・主審の場合立ち位置)	合・否	実技試験評価 ※ (合) が7つ以上で合格		合格・不合格	
筆記試験	立会検定員名	点数	点	総合評価	合格・不合格
特記事項					

右の公認審判員受験者は読むこと

公認審判員規程の要約

- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
- 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
- ライセンスの有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
- 各ライセンス受験資格と試験内容
 - S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。
 - A級・B級：筆記試験と実技試験
 - C級：空手修行黒帯以上。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。
 - D級・E級：高校生以上かつ4級以上のものが受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。無試験。
- ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
- ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
- B級以上の審判員は救急士による救急救命セミナーを2年に1度受講すること。

JKJO 全日本空手審判機構 S 級公認審判員(検定員) 認定申請書

JKJO 公認審判員規程別 3
申請者→関東地区事務局

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りS級(検定員) 認定の承認申請をします。

認定料 1,000 円

申請日	西暦	年	月	日 ()						
所属地区	北海道	東北	甲信越	関東	中部	関西	中国	四国	九州	
登録No	-			所属道場						
ふりがな				男	生年月日					
氏名				女	西暦	年	月	日	歳	
住所(都道府県から) 〒										
電話番号	-			メール						
職業					空手段位	級・段	空手修行暦	年	ヶ月	
現ライセンス	S 級(準検定員)				現ライセンス認定年月日		西暦	年	月	日
指定大会審判経験 (準検定員認定後1年間、指定大会での審判実務経験を最低2回要する)										
西暦	年	月	日	大会名	主審・副審					
西暦	年	月	日	大会名	主審・副審					
西暦	年	月	日	大会名	主審・副審					
西暦	年	月	日	大会名	主審・副審					
西暦	年	月	日	大会名	主審・副審					
検定員業務経験 (準検定員認定後1年間、検定員実務経験を最低2回要する)										
西暦	年	月	日	(場所)					
西暦	年	月	日	(場所)					
西暦	年	月	日	(場所)					
西暦	年	月	日	(場所)					
西暦	年	月	日	(場所)					
救急救命セミナー参加履歴 (2年に1回は受講経験を要する)										
西暦	年	月	日	(場所)					
西暦	年	月	日	(場所)					
備考 * 道場の移籍、改名、住所変更などが生じた場合、記入して下さい。										

カラー写真1枚
3x4cm・上半身
正装・脱帽
裏面に名前

JKJO 全日本空手審判機構 S 級公認審判員(検定員) ライセンス認定 承認書

JKJO 規約に則り、上記の者のライセンス認定を承認します。

道場名	道場名	執行部員名
執行部員名		
確認項目	合 否	
服装	合 ・ 否	
正確性	合 ・ 否	
動作・姿勢	合 ・ 否	
怪我人に対する対応	合 ・ 否	
検定員として審判員への指導能力	合 ・ 否	

S 級公認審判員(検定員) の認定は3名以上の執行部員の承認が必要です。5年に1度更新手続きが必要です。